

5月5日、子どもの読書週間向けイベント開催
好奇心、想像力を育むため、3劇団と1つの朗読グループが初コラボ
絵本の読み聞かせのような劇や、お菓子発祥の海南市の物語を公演

これまで図書館に来たことのなかった子どもたちにも来てもらい、本を手にとってもらうきっかけに

図書館機能を中心とする複合施設「海南 nobinos」(和歌山県海南市)は、5月5日(金・祝)、子どもの読書週間向けイベント「魔法の図書館 ～絵のない絵本～」をノビノスホールで開催します。和歌山で「楽しい」を創る企画を手掛ける INTRODUCTION LAB(イントロダクションラボ)協力のもと、『(劇)がらくたまつぷ』、『劇団とんこつしょうゆ』、『ヤスミーナ劇場』の3劇団と、『朗読グループ イーマ』が初めてコラボレーションします。朗読を加えることで絵本の読み聞かせのように演出した人形劇や、お菓子発祥の地といわれる海南市の劇、着ぐるみたちのダンスショーなどを実施します。図書館に本を借りに来る子どもが固定化する中、当イベントをきっかけにまだ来たことのない子どもたちにも来てもらい、本を手にとってもらいたいと考えています。

● 実は楽しくて不思議な場所だと感じてもらい図書館を身近な存在に

当イベントは、“図書館の奥には誰も知らない扉が一つ。そこには絵本の住人が住んでいる”をコンセプトに、海南 nobinos を魔法の図書館にみ立て、子どもたちに「不思議」や「学び」を届けることを目的に企画しました。子どもたちは開演中も自由に動き回れるよう、舞台と観覧席の間に赤いじゅうたんを敷いた特別席を用意します。前半は着ぐるみを着た団員たちの体操やダンスショー、後半はお人形+踊り子+役者が入り混じる摩訶不思議な世界の中で、子どもたちが音楽と笑いに包まれながらキャラクターと一緒に踊ったり触れ合ったりすることで、海南 nobinos は実は楽しくて不思議な場所だということを感じてほしい、そしてこれをきっかけにたくさん子どもたちに遊びに来てほしい、本を読みに来てほしいと願っています。



● 朗読も加わることで絵のない「絵本」感を演出

初コラボとなる3つの劇団と1つの朗読グループが用意した3つのプログラムは、「アラジンと魔法のランプ」など有名な童話を今回のイベントの為にアレンジしたものです。劇中に朗読も加わることで図書館らしい「絵本」の読み聞かせ感も演出、絵のない「絵本」というキャンパスに聞き手一人一人が絵本の世界を想い描いてほしい、そんな願いを込めました。

また、お菓子の条例を有する海南市のことも学んでほしいと、海南市・海南市観光協会が作成した絵本「たちばなとお菓子のものがたり」をアレンジした劇も行います。ミカンの原種であり、お菓子の起源といわれる橘(たちばな)が植えられた橘本神社を舞台に、劇中で実際の橘本神社の前山和範宮司からお菓子の話を伺う他、衣装等もお借りします。海南市のマスコットキャラクター『海ニヤン』も登場します。劇を楽しみながら、図書館は学びの場でもあることを感じてもらい、地元を誇りに思う手助けにもなればと思っています。



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南 nobinos 指定管理者 TRC 海南(担当:馬場・山本)
〒642-0002 和歌山県海南市日方 1525-6 TEL:073-483-8739 FAX:073-483-8738
E-mail: trc.kainan@trc-sp.jp HP <https://kainan-nobinos.jp/>

参考

魔法の図書館 ～絵のない絵本～

日時:2023年5月5日(金・祝)

第1部公演 13時00分～(30分前に受付開始)

第2部公演 15時30分～(30分前に受付開始)

場所:ノビノスホール

募集人数:各200名

募集期間:3月20日(月)9時00分～4月30日(日)21時00分

参加費:高校生以下 無料

18歳以上 700円(事前予約あり)、1,000円(当日)

内容:「SANと遊ぼう!」、「おかしのはなし」、「アラジンと魔法のランプ」

アラジン・ジャスミン気分写真撮って家族や友達同士で楽しめる写真ブースも用意しています。

■「海南 nobinos」施設概要

名称:海南 nobinos (カインノ ノビノス)

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味

所在地:和歌山県海南市日方1525番地6

Access:JR海南駅より徒歩7分

開館時間:9:00～21:30

休館日:12月29日～1月3日

運営:指定管理者 TRC 海南

代表団体:株式会社図書館流通センター(本社:東京都文京区 代表取締役社長 谷一文字)

構成団体:株式会社明日香(本社:東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗)

:大揚興業株式会社(本社:和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至)

施設内容:①図書館機能/蔵書冊数14万3499冊(うち絵本の冊数5万2532冊)※2023年3月末時点

②市民活動・生涯学習活動支援機能/ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能/和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ/スターバックス コーヒー 海南 nobinos 店(館内は全て蓋つき飲み物の利用可) ⑤広場



来館者数関西一“賑わう図書館”

海南 nobinos は、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。開館以来、子育て世代をはじめ、幅広い年代の方に利用され、年間来館者数は58万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります(日本図書館協会「日本の図書館統計と名簿2021」より)。



海南の伝統色で彩った館内の様子